

いよいよ春が到来です

ようやく日差しが暖くなり、過ごしやすい季節になりましたね。ワンちゃんやネコちゃんが窓の近くで日向ぼっこする姿が多くなるのではないのでしょうか。

今年もやってきました 狂犬病予防接種の季節

狂犬病について

今年も狂犬病の予防接種の季節がやってきました。

狂犬病は、「狂犬病」というように「犬」の文字がついているため、犬の病気だと思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、**実は人間にもかかる病気**でもあり、猫などその他の動物にも感染する病気です。

「狂犬病なんて日本にはかからないんでしょ？」と思われる方もいらっしゃるかと思います。

たしかに、日本での狂犬病は、1956年の感染を最後に報告されておりませんが、**狂犬病予防ワクチンの接種は、法律で定められた飼い主様の義務です。**

なぜならば、海外では発症例が毎年報告されており、船や飛行機で旅行などがしやすくなった分、いつ日本に狂犬病に感染した動物がきてもおかしくない状況です。

日本で発生が報告されないのは、なんとか入ってくるのを防いでいる事が理由ではありますが、昨今、人の病気でも海外に渡航された方がウィルスに感染して帰国し発症したというケースもあります。

人でも起こるのですから、ワンちゃん・ネコちゃんもいつ狂犬病が日本に入ってくるかわかりません。狂犬病は、**ワクチン接種をせずに感染してしまうと、ほぼ確実に死に至る事です。**現在、確立した治療法がない状況です。

ワクチン接種により予防が出来ます。しっかり予防接種を行いましょう。



ネコちゃんもかかる？フィラリア症

◎ワンちゃんでは有名なフィラリア症

「フィラリア症」という言葉自体、猫ちゃんの飼い主様にとっては、来院された際に、ポスターなどで見る程度で、よく知らないという事が多いのではないのでしょうか？

フィラリア症は、ワンちゃんにとって、危険な病気である事が有名であり、ワンちゃんの飼い主様は毎年予防をしておりますが、実はネコちゃんも予防が必要な病気なのです。

症状が突然消える！？実はワンちゃんより注意が必要！ 猫ちゃんのフィラリア症

フィラリア症は蚊を媒介してかかる寄生虫の病気です。

ワンちゃんの場合は、血管に増殖し、やがて血液の流れが妨げられるなどで呼吸困難などの症状がでて、放置したままですと、最終的には亡くなります。

一方、**ネコちゃんの場合は、実はワンちゃんと比べて、より気を付けないといけない病気**です。

ネコちゃんの場合、ワンちゃんと同様に、寄生虫が大きくなる事が原因で炎症を起こしたり、血管を詰まらせたりなどありますが、**しばらくすると症状が消えます**。症状が消えるため、かかった事に気が付かない、もしくは治ったのかと思って、ほっておいてしまいますが、実は心臓などでは症状が悪化しており、**急性肺障害や突然死を引き起こします**。

最近では、100%室内飼いをしているにもかかわらず、フィラリア症に感染するというケースが増えてきております。怖い病気ではありますが、ワンちゃんと一緒に、しっかり予防をすれば大丈夫です。

簡単に行えるものなど予防方法はいくつかあります。ご相談ください。



心臓に寄生したフィラリア

学べるワンニャン語クイズ

問題1：ワンちゃんが家具やソファーをかじるのはなぜ？（答えは下です）

- ① お腹すいたよ
- ② おいしい♪
- ③ なんかイライラする！



問題2：ネコちゃんが耳をキョロキョロ動かすのはなぜ？（答えは下です）

- ① 感情を表している
- ② 周りの音を聞いている
- ③ 耳で遊んでいる



プチ情報

スーパーヒーローわんちゃん参上！？

某動画サイトでは、ワンちゃん同士が助け合うという動画が投稿され話題になった。あるワンちゃんが柵の間を通り抜けようとした時に抜け出せなくなり、なんとか脱出しようともがきジタバタしていると、もう1匹のワンちゃんが参上！窮地に陥っているのを察したのか、柵から抜け出せるよう手を貸しのだ！

なんでもワンちゃんは柵に挟まっていたワンちゃんとは頻りに遊ぶ仲で、普段から仲睦まじい様子だったそうだ。公園などでじゃれ合っているワンちゃん達はよく見かけるが、困った事態に陥った仲間をここまで助けるとは……。それだけに、ワンコの仲間意識にジ〜ンときてしまったネットユーザーが少なくなかったようだ。

ある男性の実験が衝撃的！

「あなたが死んだら猫はどんなリアクションを取るんだろう？」と質問を受けた男性が、ネコちゃんの前で死んだフリをしてみることにしたそうだ。男性は胸を押さえ床に倒れ込むと、小さく鳴いては男性の匂いを嗅いだり、見つめたり…。やはり人を心配してくれているのかなと思った次の瞬間！なんとネコちゃんも同じポーズをとったのだ。パートナーには嘘もばれてしまうと教えてくれた話であった。

答え

問題1：③ あまり外に出なかったり、留守番が多くなると犬も暇を持て余してしまいます。作業意欲や狩猟本能を発散できずにストレスが溜まっているのかもしれませんが。犬が退屈を感じないように牛革やナイロン製のかじれるおもちゃを与えると、楽しく過ごせます。

問題2：② 猫はとても耳が良く、大きな耳を使って360度あらゆる方向から収音しています。そのため耳がアンテナのようにキョロキョロ動くのです。また猫は超音波も聞き出すことができます。ネズミの鳴き声は高音のため、ネズミを捕まえるために発達したといわれています。

愛するってこういう事だよ…

ある雨の日、フィリピンの市場でおじいさんがワンちゃんに濡れないようになにやら準備をしていた。犬の体にビニールシートを巻き付けシートの端をギュッと結び、麦わら帽子を取り出し頭にのせた。飛ばされないようにゴムをあごの下にかけ、クリップで固定…と。

そのゆっくりと丁寧にお世話をしていく姿を見ていると、「大事な飼い犬が雨に濡れませんように」という気持ちがひしひしと伝わってくるのだ。さりげなく愛情深い動作は、きっと日頃から大事にお世話をしていることを連想させる。

“本物の愛”とはこのことなのか…。

ネコちゃんと働き方改革！？

日本にはネコ好きにはたまらない天国のような会社があるようだ。「仕事のストレスが蓄積すると癒しが欲しくなる。毎日仕事に出かけなければならず、大好きなネコとなかなか一緒にいられない。そんな人は、ネコを連れて出勤してしまおう。」と考えるのはIT企業・ファーレイだ。同社はネコの同伴出勤制度を導入し、オフィスを癒しの空間に変えた。

そして、社内で気ままに過ごす8匹のネコちゃんのご飯を食べたり、休憩することで従業員が癒されているのだ。さらに、会社では野良猫の引き取りを奨励していて、引き取ることで月5000円の「ネコ手当」が支給されるそうだ。



本の広場

保護ねこのきもち

(ベネッセコーポレーション)

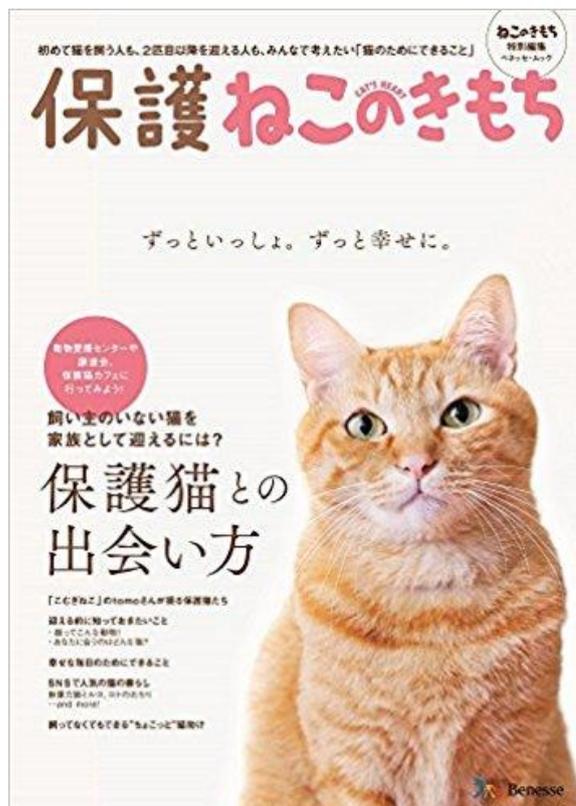
ここ数年、猫ブームなど言われており、猫を手に入れ方の一つとして、ペットショップではなく、保健所や動物愛護センター、愛護団体などが開催する譲渡会を通して保護猫を飼い始める方がいらっしゃるかと思います。

年間、犬と合わせて 56,000 頭が殺処分されている現在、徐々に処分される頭数は減りつつもあるが、まだまだ殺処分ゼロとは遠い現実。

ある日、保護された生まれも、性格も、個々に違う保護猫たち。

猫と人がいっしょに、幸せに生きていくためにできること。

これから猫を初めて飼いたい人も、2 匹目以降を迎えたい人も、今後新たに飼う予定がない人も、それぞれに、みんなで、考えてみませんか？



保護猫を新たに家族として迎える方に読んでいただきたい1冊です